

「アルプス運輸建設株式会社(本社:長野県松本市)(農地:長野県松本市他)」

法人の概要

【所在地】長野県松本市

【設立】昭和34年2月 【農業開始時期】平成25年4月

【経営面積】45 ha(令和6年現在)

【営農作物】水稻

【従業員数】役員1名、常雇5人、パート等2名

【売上高】農業売上4,000万円(令和6年)

【参入に至った経緯・動機】

アルプス運輸建設株式会社は、長野県松本市で運送業を営む法人。同法人では、定年を迎えた従業員の再雇用確保が課題となっていたため、2013年4月、代表取締役の知人の依頼を受けて、遊休化のおそれがある市内の農地を借り受け、農業参入。



中山間地に位置する筑北村での水稻生産の様子。

取組のポイント

- 運輸業の経験から、地元農産物の需要が大きい市内で直売所を開設すれば、直売ビジネスの発展が見込めると判断し、2019年6月に直売所を開設。法人が生産している水稻の他、地域で生産された幅広い作物を販売するとともに、直売所の会員農業者らが出荷する規格外品なども販売し、農業関係の売上高は参入当初と比較して増加している。
- 同法人に関する新聞記事を見た長野県農地中間管理機構から連絡があり、耕作地として筑北村を紹介された。筑北村は、山間地域の水利条件不利地に位置しており、鳥獣害の発生地域であるが、草刈り等を徹底した結果、地元住民との信頼関係が構築され、徐々に借入面積を拡大。現在は、村の担い手法人として荒廃農地の発生防止に寄与している。